

福田寺だより

永遠のいのちを生きる

・・・六月十五日・弘法大師誕生会を迎えて・・・

発行 55

神奈川県小田原市飯田岡二五七
 飯田山 福田 田 圭寸 36-27
 住職 橋本尚信 伍

六月十五日は、真言宗を開かれた弘法大師空海すなわちお大師様のお誕生日です。お大師様が生まれたのは、宝亀五年（七七四）です。今から千二百年以上も前の事です。そのお大師様を、私達は今なお信じ心の支えとし、時に救っていただいているのです。このことは歴史的な人間空海を越えたお大師様がいらっしゃるというのでしょうか。

では、私達一人一人は、この世の生（現世）の一生を終えたら、それで何もかもおしまいで、お大師様のよ

うに未来永劫生き続けることは出来ないのでしょうか。

否、お大師様が生き続ける以上、私達も又ずっと生き続けられるのです。ただ、その為には、お大師様と一体にならなければ成りません。お大師様の心を我が心とし、お大師様と伴に歩む人生が必要です。お大師様でなくとも、お大師様が信じた大日如来（御仏様）でも良いのです。即ち梵我一如（仏と我と一体になる）を体得することです。密教の修行は真にこのこと、つまり「仏と我と一つ

である」という境地を体現することにあります。お大師様も実はそのことを様々な言葉で書物に書き、修行の方法をも組み立てたのであります。つまり、自分が大日如来であると、身と口（言葉）と心でもって解ることが密教という悟りなのです。

そして、自分が大日如来と、あるいは弘法大師と一体であると体得した時、我々の生命は未来永劫に亘って生き続けるのだと思います。

福田寺に時々お手伝いに来てくれている、大磯の岸さんという方は、一月末から四月半ばにかけて、人力車を引いて四国八十八カ所霊場の巡礼を成満しました。ここに又一人、同行二人（自分と御仏が一体であることを知る）を實踐した人が現れました。善哉 善哉。

客殿建設決議決まる

三月十三日・檀徒総会にて

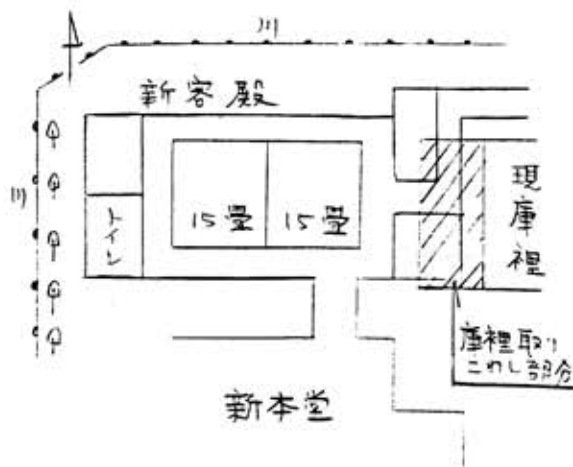
本堂建設がほぼ完成し、庫裏とのつなぎをどうするかということ、いろいろと検討を重ねた結果、客殿建設の要望が多く、檀信徒全員に諮って決めていくことになり、去る三月十三日（日）午後、檀徒総会を開催致しました。結果は、別紙議事録の通り、客殿建設と維持費の一部流用が承認されました。

現在準備を進めていますが、建築場所の整備や土盛りの必要性から、植木の移植を行っています。

今後の工事の予定は、

- 1 植木移植完了
 - 2 庫裏・一部屋 仮設
 - 3 庫裏一部取り壊し
 - 4 土盛り
 - 5 客殿建設
 - 6 この間、新本堂荘厳、本尊遷座
 - 7 旧本堂解体
- 境内整備と進めて行くこととなります。しばらく工事が続きますので、落慶式典はこれらが済んでからということになりますので、来年の秋頃になるのではないかと思えます。今暫く御辛抱をお願い致します。

客殿位置図



お施餓鬼会のお知らせ

⇒ 別紙御案内の通り、七月二日
⇒ 午後二時半より施餓鬼会を修行
⇒ いたします。ご参詣をお待ちし
⇒ ております。

⇒ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

「し」詠歌 『大和講』 八十八周年記念大会盛盛会

四月二十七日・小田原市民会館大ホール

ご詠歌の「大和講」は昭和四年に発足してから、丁度六十周年を迎えました。例年、大会が開かれますが本年は特に、六十周年記念大会とし記念式典や、先師・先亡講員等の追悼法要も合わせて行い、各支部の奉詠と子ども盛会のうちに執行するこゝとが出来ました。当飯田岡支部からも十四名が参加し、修行和讃をしみじみと歌いあげました。又、詠歌を始めた方という方も二、三人見学に行かれたようです。

ご詠歌の効能は、いろいろ有りませんが、先ず第一に健康に良いということ。声を出すことは、呼吸を整え、姿勢を正し、ストレスを発散するので、自然と健康体を作ってく

れるのです。第二に、人間関係を通じて社会との係わりを持つことで、とかく集団活動は人間関係の面で、めんどくさいように思います。が、私達は、常に人と接して暮らしているものであり、相手がいて、はじめて自分が居るのです。所詮、お互いにちっぼけな人間同士ですから、あまり片意地張らずに、おおらかな気持ちで積極的に活動して欲しいと思います。そうすることが、社会の一員としていつまでも若々しく保てることではないでしょうか。第三に何といたって、ご詠歌は神仏への讃歌ですから、仏教徒としての安らかな心を知らず知らずに体得出来ることです。唱える言葉の一つ一つが、

積尊をはじめ、仏教に関するものに通じているのですから、身をもって仏道の修行をしていることになるのです。

最近、若手の方が何人か練習しはじめました。迷っている方、思い切ってみませんか。老若男女問いません。どんどん参加してください。

去る五月二十三日、飯田岡支部のご詠歌の最初の指導者でありました小山ミチさん（九十二才・住職の伯母）が亡くなりました。関係各位の生前の御厚誼に対し深謝申し上げます。哀悼

檀徒総会議事録

一、日時 昭和六十三年三月十三日(日)

午後一時二十分～二時二十五分

二、場所 福田寺本堂

三、議案 1. 客殿の建設について

2. 上記1. に係わる維持費の一部流用について

・ 住職挨拶

・ 山崎本堂建設委員長挨拶

(客殿の建設につき総会を開いた経緯を説明)

・ 議長、書記の選出

議長・・・高橋 泉

書記・・・高橋恒汎 両氏を選出

・ 議事内容

▷ 議案提示 委員長より、新本堂と庫裏とのつなぎをどうするかということ、世話人会・建設役員会で度々検討したところ、渡りとトイレで相当の金額がかかることがわかり、もし、それだけの金額をかけるのなら、寄付金残金千三百万円全額使用して、客殿を建ててはどうかとの意見でまとまった。又、不足分は寺の維持費千六百万円から一部流用したいので、この二点につ

いてお諮りしたい。との議案提示がなされた。

▷ 議長より二点は関連があるので、一括して審議する旨発言、一同了承。

▷ 素案説明 吉田委員より客殿の素案を図面により説明

した(十五畳・二室、トイレ、厨房等)。しかし客殿建設には約二千万円程度必要と思われる。再勸募は出来ないので積立金(維持費)を流用したい。尚建築業者については、三浦社寺建築にお願いするつもりだったが、社寺専門建築の立場から一般建築は手がけていないということでした。府川のお寺の客殿を見学したが、廉価のわりに良くできていたので指名の方向で検討したいが、良い業者があれば、ご紹介願いたい。

▷ 質疑応答

質問(N・M) トイレに洋式が欲しいがどうか?

答(吉田委) 細かいところまで決まっていなくて希望を入れることは可能です。

質問(S・A) 建設すること賛成です。

1、渡りの階段が急勾配にならないか?

2、玄関と下駄箱がないか?

答(吉田委)

1、地盛りをして勾配を修正したい。

2、予算がゆるせば検討したい。

質問 (S・Y)

- 1, 荘殿具の予算はとってあるか?
- 2, 旧本堂の取り壊し費用は?

答 (吉田委)

- 1, 六百万円とってある。
- 2, 取り壊し費用百万円みてある。

質問

(Y・K) 坪当たり単価が安すぎると思える。

本堂に対しまるに貧弱ではないだろうか。維持費を当面使わないのなら、七百万円と限らずもっと流用して、今少し良いものを建てたらどうか。

答

(吉田委) 先程説明した建物の柱の材質は、は

りものである。これを文二、三方無ふし等にすると相当な価格になる。いずれにしろ素案は、限られた最低の予算から作り出したものであることを理解頂きたい。

質問

(Y・K) 一般住宅の値段と比較しても、坪当

たり三十七万円では貧弱すぎる。流用金額を七百万円にプラス出来ないものか。

議長

維持費の残金はいくらあれば良いのか住職に説明を請う。

住職

維持費は現在千六百万円ある。当面支出を予

▷決議

定しているものはない。世話人、総代と検討して流用できる可能な範囲で使わせていただければ有り難い。

尚、本来なれば客殿建設委員を改めて委嘱すべきところ、時期的にその猶予がなかったため、本堂建設役員(十一人)に引き続き客殿建設の委員を委嘱したのでご承認いただきたい。

一、客殿を建設することについて

二、資金調達 本堂残金千三百万円と維持費(積立金)の千六百万円を流用することについて(その範囲は世話人、総代、住職で検討)

議長よりご賛同の方は挙手されたい旨諮った。

「全員挙手し賛成した。」

以上

議事録抜粋です。

昭和六十三年六月一日

福田寺